

## 1. 講義

- 青柳伸男, 我が国の生物学的同等性試験, 国立保健医療科学院 (2004.5)
- Nobuo Aoyagi, Bioequivalence Tests for Oral Dosage Forms, 国際厚生事業団 (2004.12)
- 香取典子, 薬事衛生管理コース, 統計的評価法, 国立保健医療科学院 (2004.5)
- 吉岡澄江, 薬事衛生管理コース: 医薬品の安定性, 国立保健医療科学院 (2004.5)
- 吉岡澄江, 第14回必須医薬品製造管理研修: 医薬品の安定性, 国際厚生事業団 (2004.12)
- 檜山行雄, 薬事衛生管理コース: 医薬品の開発過程, 医薬品の規格設定, 国立保健医療科学院 (2004.5-6)
- 坂本知昭, 薬事衛生管理コース: 理化学品質試験概論, 品質試験とデータ評価, 分析法バリデーション, 国立保健医療科学院 (2004.5-6)
- 檜山行雄, 第14回必須医薬品製造管理研修: 医薬品の品質保証 - 開発・規格設定・GMP, 国際厚生事業団 (2004.12)
- 花尻(木倉)瑠理, 鑑定官会議: 新規麻薬指定薬物AMT及び5-MeO-DIPTの識別法について, 地方厚生局麻薬取締部 (2005.3)
- 川西 徹, 特別課程薬事衛生管理コース: バイオ医薬品の品質管理, 国立保健医療科学院 (2004.6)
- 鹿庭正昭, 専門(共同)研修「薬事監視」: 家庭用品概論, 特別区教員研修所 (2005.3)
- 五十嵐良明, 環境衛生監視員研修(専門コース): 家庭用品規制法における有害物質の選定, 神奈川県 (2005.2)
- 佐藤道夫, 特別課程薬事衛生管理コース: 「医療機器の不具合報告」, 国立保健医療科学院 (2004.5)
- 米谷民雄, 「食品衛生をめぐる最近の話題 - 農薬等のポジティブリスト制を中心として」, 愛知県衛生研究所技術研修会 (2004.10)
- 米谷民雄, 専門課程毒性学: 食品, 国立保健医療科学院 (2005.1)
- 佐々木久美子, 特別課程食品衛生管理コース, 国立保健医療科学院 (2005.2)
- 佐々木久美子, 残留農薬・残留動物用医薬品研修会, 食品衛生登録検査機関協会 (2005.3)
- 村山三徳, 食肉衛生検査コース: 残留抗菌性物質の生化学的検査法, 国立保健医療科学院 (2004.6)
- 村山三徳, 食品衛生検査機関協会研修会・平成16年度残留農薬・残留動物用医薬品研修会: 残留動物用医薬品の試験法について, 国立競技場東京体育館 (2005.3)
- 村山三徳, 地域保健総合推進事業・健康危機管理における地方衛生研究所の広域連携システムの構築: 動物用医薬品の規制動向と分析法について, 埼玉県衛生研究所 (2005.3)
- 穂山浩, 特別課程食品衛生管理コース: 食物アレルギー及び遺伝子組換え食品, 国立保健医療科学院 (2005.2)
- 渡邊敬浩, 菊地博之, 穂山浩, 「組換えDNA技術応用食品の検査に係る実地技術研修会」, 厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課 (2004.10)
- 松田りえ子, 食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会: 測定の不確かさの推定について, 国立保健医療科学院 (2004.7)
- 松田りえ子, 検査施設責任者研修会: 試験法とバリデーション, 国立競技場東京体育館 (2004.8)
- 松田りえ子, 検疫所における試験検査業務(GLP)研修会: 検体採取の重要性, 厚生労働省 (2004.11)
- 松田りえ子, 食品衛生管理コース: 食品中の汚染物の摂取量調査について, 国立保健医療科学院 (2005.2)
- 棚元憲一, 食品衛生管理者資格認定講習会: 添加物等の規格(I), 日本食品添加物協会 (2004.8)
- 四方田千佳子, 食品衛生講習会: 食品添加物の分析法, 食品安全部監視安全課 (2004.5)
- 四方田千佳子, 食品衛生管理者資格認定講習会: 添加物の規格( ), 日本添加物協会 (2004.8)
- 四方田千佳子, 食品衛生管理コース: 食品添加物の最近の動向, 国立保健医療科学院 (2005.3)
- 山崎 壮, 食品衛生管理者資格認定講習会: 添加物等の規格( )天然添加物の規格, 日本食品添加物協会 (2004.8)
- 久保田浩樹, 食品衛生管理者資格認定講習会: 分析法概論(I), 日本食品添加物協会 (2004.8)

- 杉本直樹, 食品衛生管理者資格認定講習会: 分析法概論( ), 日本食品添加物協会(2004.8)
- 河村葉子, 食品衛生管理者資格認定講習会: 添加物等の規格( ) 器具及び容器包装の規格基準と試験法, 日本食品添加物協会(2004.8)
- 河村葉子, 食品衛生管理コース: 器具・容器包装における最近の話題, 国立保健医療科学院(2005.2)
- 山本茂貴, 食肉衛生検査コース: 食肉の微生物学的リスクアナリシス, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 山本茂貴, 食品衛生監視指導コース: 食品衛生監視指導演習, 国立保健医療科学院(2004.10)
- 山本茂貴, 食品衛生管理コース: 食品の微生物学的リスクアナリシス, 国立保健医療科学院(2005.1)
- 町井研士, 食肉衛生検査コース: 免疫学的診断, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 町井研士, 食品衛生管理コース: マリンバイオトキシン, 国立保健医療科学院(2005.1)
- 町井研士, 専門課程選択科目: 天然毒, 国立保健医療科学院(2005.2)
- 春日文子, 第6期実地疫学専門家養成コース初期導入研修: 食品媒介感染症のリスクアセスメント, 国立感染症研究所(2004.4)
- 春日文子, 食肉衛生検査コース: 微生物学的リスクアナリシスの実際, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 春日文子, 食品衛生管理コース: リスクアナリシスと地方食品衛生行政, 国立保健医療科学院(2005.1)
- 春日文子, 食品安全に関するリスクアナリシス専門化養成トレーニングコース: 微生物学的リスクアセスメントの実例(1), 農林水産省(2005.2)
- 五十君静信, リステリアの現状について, 食品安全委員会第45回会合(2004.5)
- 五十君静信, 食肉衛生検査コース: 食鳥の細菌制御, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 五十君静信, 食肉衛生管理コース: 乳肉製品の細菌制御, 国立保健医療科学院(2005.1)
- 五十君静信, 動薬検研修コース: 家畜由来の薬剤耐性菌の食品健康影響, 農林水産省動物薬品検査所(2004.6)
- 五十君静信, 食肉衛生検査コース: 食中毒菌の検査法, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 高鳥浩介, 食肉衛生検査コース: 食肉と真菌, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 高鳥浩介, 食品衛生管理コース: 食品衛生と真菌, 国立保健医療科学院(2005.1)
- 高鳥浩介, 基本講習コース: 真菌検査法, (独)動物衛生研究所(2004.6)
- 高鳥浩介, 「カビと健康被害」, 国立医薬品食品衛生研究所衛研講座(2004.7)
- 宮原美知子, 食品衛生管理コース: 食品の細菌検査の問題点, 国立保健医療科学院(2005.1)
- 小西良子, 食品安全行政講習会: パツリンの試験法について, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 小西良子, 食品衛生管理コース: 食品衛生をめぐるマイコトキシンの話題, 国立保健医療科学院(2005.1)
- 小西良子, JICA マイコトキシンコース: 食品に汚染するマイコトキシンの毒性, 日本国際協力センター(2005.4)
- 奥田晴宏, 薬事衛生管理コース, 国立保健医療科学院,(2004.5)
- 森川 馨, 特別課程薬事衛生コース: 医薬品の品質保証とGMP, 国立保健医療科学院(2004.5)
- 森川 馨, 特別課程薬事衛生コース: 医薬品情報, 国立保健医療科学院(2004.6)
- 豊福 肇, 特別課程食品衛生管理コース: コーデックスと世界の動向, 国立保健医療科学院(2005.2)
- 畝山智香子, F-2 毒性学(毒性情報), 国立保健医療科学院(2005.2)
- 鹿庭なほ子: 生物学的同源性試験統計について, 財団法人臨床研究奨励基金セミナー(2004.11)
- 頭金 正博: 毒性学講義, 国立保健医療科学院(2004.12)
- 大野泰雄, 第11回HAB研究機構学術年会(2004.5)
- 広瀬雅雄, 第11回毒性病理学専門家認定試験解説, 第21回日本毒性病理学会(2005.1)
- 林 真, Computer system in GLP testing, JICA, National Center for Safety Evaluation of Drug(2004.2)

- 林 真, Strategy for safety assessment of chemicals based on genotoxicity assay data, JICA, National Center for Safety Evaluation of Drug (2004.2)
- 増井 徹, 人の「からだ」の研究を可能にする社会基盤, 先端医学の普及・発展を目指して, ヒューマンサイエンス先端医学研究等普及啓発セミナー (2004.5)
- 増井 徹, 企業での研究倫理審査, 日本製薬工業協会, 研究開発委員会 (2004.6)
- 林 真, 生活の中の化学物質 - その安全と安心 -, さいたま市民大学, 生命科学に挑戦 (2004.8)
- 増井 徹, 再生医療の研究促進と産業化のための研究社会基盤, 細胞組織医療機器等の製品化のための環境整備 (2004.7)
- 増井 徹, 人の「からだ」の研究を可能にする社会基盤, 先端医学の普及・発展を目指して, ヒューマンサイエンス先端医学研究等普及啓発セミナー (2004.8)
- 増井 徹, 人の「からだ」の研究を可能にする社会基盤, 先端医学の普及・発展を目指して, ヒューマンサイエンス先端医学研究等普及啓発セミナー (2004.11)
- 増井 徹, くすりの研究・開発と個人情報, 日本医薬品情報学会, フォーラム: 21世紀のくすりの研究開発と医薬品情報 (2004.12)
- 増井 徹, ゲノム研究と再生医療 人体由来の研究資源についての諸問題, JPG コンソーシアム (2005.1)
- 増井 徹, バイオサイエンス専門家の役割と課題, 文部科学省科学技術振興調整費成果発表会「生命倫理の社会的リスクマネジメント研究」(2005.1)
- 増井 徹, 公共研究資源としてのヒト組織の研究倫理面での国内・国外での議論, ヒューマンサイエンス振興財団研究資源バンク技術講習会 (2005.2)
- 増井 徹, ゲノム研究を支える社会基盤とコアコンピタンス, 第13回懇話会, NPO法人「くらしとバイオプラザ21」(2005.2)
- Masui, T., An Aspect of Genome Science in Japan Science and Technology Policy, Social Risk Management of Biomedical Issues Policy Making Study for Science and Technology (2005.3)
- Masui, T., GOVERNANCE In GENOME ERA, Forum: Governance in Genome Era (2005.3)
- 増井 徹, 日本の細胞バンク・細胞供給体制の現状と将来像第2回CPCワークショップ「生物由来製品を安全に, かつ安定的に供給するためにPart 2」(2005.3)
- 増井 徹, 倫理的側面・法制度からの支援, 第125回日本薬学会シンポジウムS42 レギュラトリーサイエンス部会「ファーマコジェノミクスを活用する創薬と国際化ICHの新しい方向」(2005.3)
- 増井 徹, 公共研究資源としてのヒト組織の研究倫理面での国内・国外での議論, 慈恵医科大学ラジアルフロー型バイオリアクターを用いたバイオ検定及びバイオ生産システムの開発(平成14年~平成16年, 大川清)成果発表会 (2005.3)
- 林 真, 医薬品における遺伝毒性の国際動向とリスクアセスメント戦略, 日本製薬工業協会第98回基礎研究部会総会 (2005.3)
- 林 真, Ames試験の結果をin silicoでいかに予測出来るか, またその精度は?, MMS Seminar, (2005.4)
- Masui, T., Law and biomedical ethics: GOVERNANCE, International Roundtable in Nara on Biomedical Ethics and Law (2005.5)
- 飯田 修, 県民大学講座「自然のめぐみ薬用植物」: 身近な薬用植物, 茨城県鹿行生涯学習センター (2004.6)
- 木内文之, 県民大学講座「自然のめぐみ薬用植物」: 薬用植物から開発された薬, 茨城県鹿行生涯学習センター (2004.6)
- 吉松嘉代, 県民大学講座「自然のめぐみ薬用植物」: これからの薬用植物, 茨城県鹿行生涯学習センター (2004.6)
- 淵野裕之, 県民大学講座「自然のめぐみ薬用植物」: 世界の薬用植物, 茨城県鹿行生涯学習センター (2004.6)
- 飯田 修, 井上 修, 河野徳昭, 木内文之, 北澤 尚, 黒田利恵, 関根 勉, 高橋 真里衣, 瀧田秀生, 根本泰行, 菱田敦之, 淵野裕之, 松元典男, 吉松嘉代, 山田みどり, つくばちびっ子博士: ハーブ鉢植え実習と薬用植物観察, つくば市・つくば市教育委員会・つくば市科学教育事業推進委員会 (2004.8)
- 香月茂樹, 北国で栽培できる南の植物, (社)日本植物園協会第一回技術者講習会 (2004.6)
- 香月茂樹, 「植物: ご存じですか本当のこと!」, なよろ野の花の会, (2004.6)
- 香月茂樹, 薬物乱用防止指導員講習会, 身近な危険な植物, 薬物乱用防止指導員西之表保健所地区協議会 (2004.6)

香月茂樹, 第10回薬用植物シンポジウム - 植物との出会い - (植物資源調査と野外観察会), 廿日市市吉和支所 (2004.9)

香月茂樹, 沖縄での薬用植物の栽培と利用, (財)海洋博覧会記念公園管理財団都市緑化植物園技術者講習会 (2004.10)

## 2. 講 演

早川堯夫, 「品質に関するトピックの動向, Q5Eガイドライン: コンパラビリティ: 生物薬品 (バイオテクノロジー応用医薬品 / 生物起源由来医薬品) の製造工程の変更にともなう同等性 / 同質性評価」, 第11回ICH即時報告会講演, 日本公定書協会, 日本製薬工業協会 (2004.12)

早川堯夫, 「第十四改正日本薬局方第二追補について」, 医薬品の品質確保をめぐる諸問題, 公定書協会講演会 (2005.2)

早川堯夫, 「国立衛研の国際活動等」, 国立医薬品食品衛生研究所創立130周年記念講演会, 国立医薬品食品衛生研究所 (2004.12)

檜山行雄, 「化学薬品製剤の製造法欄記載について」, 財団法人大阪医薬品協会 (2004.8)

檜山行雄, 「医薬品の品質管理とグローバル化リスク管理の取り込み」, ファームテクジャパンセミナー (2004.9)

檜山行雄, 「化学薬品製剤の製造法欄記載について」, 日本製薬団体連合会医薬品製造管理者講習会 (2004.10)

檜山行雄, 「GMPと医薬品品質保証」, 第15回山口GMP研究会 (2005.1)

檜山行雄, 「医薬品の品質確保をめぐる諸問題, GMPをめぐる動向について」, 財団法人日本公定書協会研修会東京会場 (2005.2)

坂本知昭, 「医薬品の品質確保をめぐる諸問題, GMPをめぐる動向について」, 財団法人日本公定書協会研修会大阪会場 (2005.2)

檜山行雄, 「高度分析技術を応用した医薬品製品開発および製造工程管理手法の展望」, 平成16年度創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業推進事業研究発表 (2005.2)

檜山行雄, 「Process Analytical Technologyと医薬品品質保証の展望」, 第18回インターフェックスジャパン専門技術セミナー (2005.5)

合田幸広, 「漢方生薬製剤に関する最近の話題」, 日本漢

方・生薬製剤協会総会講演会 (2004.5)

合田幸広, 「食薬区分とその周辺」, 東京薬科大学大学院特別講演会 (2004.7)

Goda, Y., "Quality Control of Herbal Medicines in Japan", The workshop entitled "Scientific Approaches to Quality Assessment of Botanical Products" at the University of Mississippi (2004.9)

合田幸広, 「当所におけるユニット研究例 N・ニトロソフェンフルラミンに関する研究」, 国立医薬品食品衛生研究所130周年記念講演会 (2004.12)

合田幸広, 「錠剤, カプセル状食品の原材料の安全性に関する自己点検フローチャートについて」, 平成16年度「健康補助食品」管理講習会 (2005.2)

合田幸広, 「一般用漢方処方の見直しと西洋ハーブの医薬品へのアプローチ」, 日本大衆薬工業協会事業活動戦略会議 (2005.2.17)

花尻(木倉)瑠理, 「脱法ドラッグ及び未承認薬の試験検査に関わる諸問題」, 第41回全国衛生化学技術協議会年会 (2004.11)

花尻(木倉)瑠理, 「合成麻薬エクスタシーについて」, 東西合同技術委員会・麻薬技術部会 (2005.2)

花尻(木倉)瑠理, 「MDMA-Type substances」, International Forum on Control of Precursors for ATS (2005.2)

鈴木孝昌, 「遺伝子発現解析とプロテオミクス研究 - トキシコゲノミクスから診断への応用へ - 」, 名古屋市立大学薬学談話会 (2004.11)

土屋利江, 「医療機器としての人工臓器の開発」, みらいせんい展健康系イベントシンポジウム (2004.8)

土屋利江, 「再生医療デバイス実用化のために」, みらいせんい展健康系イベントシンポジウム (2004.8)

土屋利江, 「期待される材料開発」, 化学技術戦略推進機構(JCII)(2004.6)

土屋利江, 「医療機器, 医療材料の薬事法改正による安全性確保対策等について」教育セミナー, 日本人工臓器学会 (2004.7)

土屋利江, 「国内における医療用具の安全対策について」教育講演, 日本人工臓器学会大会 (2004.10)

土屋利江, 「再生医療実用化への道」教育講演, 日本再生医療学会 (2004.10)

- 土屋利江, 「再生医療に関わる評価技術とその標準化」 CERES研究会, 東京大学医科学研究所 (2004.4)
- 土屋利江, 「なぜ医療機器は海外で開発されるか? - 日本の現状と課題」次世代医療システム産業化フォーラム, 大阪商工会議所 (2004.6)
- 土屋利江, 「ISO TC194 医療機器の生物学的評価と動物福祉」, トキシコロジー研究連絡委員会シンポジウム, 日本学会会議 (2004.11)
- Toshie Tsuchiya, Evaluation of cell and tissue based products in Japan, The 2<sup>nd</sup> KFPA-KRIBB Joint International Symposium International Harmonization on Biopharmaceuticals (2004.10)
- Toshie Tsuchiya, Regulation and Activities of Standardization for Tissue Engineered Products and Medical Devices in Japan, 4th ASIAN INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON BIOMATERIALS 2ND INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON FUSION OF NANO AND BIO TECHNOLOGIES (FNB) (2004.11)
- Toshie Tsuchiya, Methods for evaluating the mutagenicity and carcinogenicity of biomaterials, ISO TC194 WG6 (2004.6)
- 五十嵐良明, 全国家庭用品安全対策担当係長会議: クレオソート油及びそれらで処理された木材製品の試験法について, 厚生労働省 (2004.6)
- 伊佐間和郎, 「医療材料における標準化の動向」, 独立行政法人 物質・材料研究機構 生体材料研究センター TWA研究会 (2004.8)
- 西村哲治, バイオアッセイセミナー「バイオアッセイの今後」(2004.6)
- 西村哲治, 環境測定分析検討会統一精度管理調査結果説明会およびブロック会議 (2004.7)
- 西村哲治, 全国給水衛生検査協会「水道水管理研修会」, 「検査方法問題点の解説」(2004.10)
- 西村哲治, 全国給水衛生検査協会「水道水管理研修会」, 「検査方法問題点の解説」(2004.11)
- 西村哲治, 全国給水衛生検査協会「認定水道水質検査員研修会」(2004.12)
- 徳永裕司, 「皮膚機能を科学する」, 高知県立安芸高等学校 (2004.4)
- 徳永裕司, 「Melanin synthesis inhibitors and in vitro evaluation method for whitening cosmetics」, 韓国薬学会第53年会 (2004.4)
- 徳永裕司, 「尿中ヒ素代謝物質の分析とヒ素の生体影響」, 富山県衛生研究所 (2004.5)
- 徳永裕司, 「Urinary arsenic species in arsenic-affected areas of West Bengal, India」, インド・西ベンガル州ビダンチャンドラ農業大学 (2004.11)
- 徳永裕司, 「化粧品の品質管理と試験検査」, 試験検査センター (日本薬剤師会) (2004.12)
- 徳永裕司, 「化粧品開発と安全性試験について」, 日本薬学会第125年会 (2005.3)
- 米谷民雄, 「食品中の化学物質への対応について」, 国立医薬品食品衛生研究所衛研講座 (2004.7)
- 米谷民雄, 「新型天然機能性食品的研究」, 鄭州大学 (2004.7)
- 米谷民雄, 「食品の安全確保のための考え方と最近の手法について」, 日本健康食品規格協会 (2005.5)
- 米谷民雄, 平成17年度食品安全行政講習会: 「スギヒラタケ中の有害成分の分析について」, 厚生労働省 (2005.5)
- 宮原誠, 「食品衛生と照射食品」, 2004年度生活衛生関係営業指導員研修会 (2004.9)
- 村山三徳, 「MRL設定に対応する抗菌性物質の新たな分析・サンプリング手法の確立について」, 動物用抗菌剤研究会第32回シンポジウム特別講演 (2005.4)
- 穠山 浩, 「食物アレルギーをめぐる課題」アレルギー物質を含む食品の検知法について, 食の安全・安心世田谷区民会議シンポジウム (2004.10)
- 穠山 浩, アレルギーを抑制する食品成分, 東京大学大学院農学研究科特別講演会 (2004.7)
- 穠山 浩 「Framework for GM safety and labeling system, Workshop on DNA analysis for food safety and quality assurance」, New look through GMOs and molecular analysis, Faculty of Science Chulalongkorn University (2004.8)
- 穠山 浩 「MHLW Test Method and Monitoring, Workshop on DNA analysis for food safety and quality assurance」, New look through GMOs and molecular analysis, Faculty of Science Chulalongkorn University (2004.8)
- 穠山 浩 「Japanese Food Allergy Regulations and Test,

- Workshop on DNA analysis for food safety and quality assurance」, New look through GMOs and molecular analysis, Faculty of Science Chulalongkorn University (2004.8)
- 渡邊敬浩「アレルゲンに関する話題」, AOAC International Japan section (2004.11)
- 渡邊敬浩「MHLW test methods and monitoring for GMOs: 遺伝子組換え体をモニタリングするための厚生労働省通知検査方法」, Faculty of Science Chulalongkorn University (2004.8)
- 渡邊敬浩「Japanese food allergy regulations: 日本における特定原材料の規制について」, Faculty of Science Chulalongkorn University (2004.8)
- 松田りえ子「HPLC分析における検量線の不確かさの計算例」, ヒューマンサイエンス総合研究推進事業研究成果発表会(2004.12)
- 棚元憲一「微生物試験の国際的動向と同方試験の今後の方向について」, 医薬品工業協会主催東西合同技術(研究)委員会,(2005.3)
- 四方田千佳子「食品添加物の分析法設定」, 第41全国衛生化学技術協議会年会(2004.11)
- 山崎 壮「遺伝子組換え技術で製造された食品添加物の安全性評価」, 第25回ヒューマンサイエンス基礎研究講習会(2004.9)
- 河村葉子「食品用容器包装の安全性」, 熊本県立大学環境共生学部(2004.5)
- 河村葉子「第63回JECFA会議報告」, 日本食品添加物協会(2004.7)
- 河村葉子「器具・容器包装の安全性向上をめざして」, 塩ビ食品衛生協議会(2004.8)
- 春日文子「食品の微生物学的リスクアナリシスに関わる国際動向」, NPO食科協総会学術講演会(2004.6)
- 春日文子「リスクアナリシスに基づく食品微生物管理の動向」, 食品工業倶楽部(2005.1)
- 春日文子「微生物規格基準の科学的根拠」, 埼玉県食品衛生監視員等技術研修会(2005.2)
- 春日文子「科学的な食品微生物規格の設定 - 国際食品微生物規格委員会の活動」, 東京都健康安全研究センター技術懇話会(2005.2)
- 春日文子「食品微生物に関するリスク評価」, 動物医薬品検査所特別講演会(2005.3)
- 春日文子「食の安全, 安心確保のために」, すみだ食の安全, 安心についての意見交換会(2005.5)
- 五十君静信「細菌性食中毒の最近の動向」, 神奈川県食中毒予防研修会特別講演(2004.5)
- 五十君静信「食中毒起因細菌に関する最近の話題」, 香川県乳肉衛生研修会特別講演(2005.1)
- 五十君静信「総合文化講座「食品におけるバイオテクノロジーの将来と法制度」」, 武蔵野地域自由大学(2004.6)
- 五十君静信「感染症の驚異, 現状, 対策(その2) 組換え乳酸菌を利用した感染症制御の可能性」, 相模原市市民大学講座(2004.8)
- 高鳥浩介「食品のカビによる変敗と検査マニュアル」, 科学技術交流財団食品微生物技術研究会(2004.10)
- 高鳥浩介「カビ・酵母による食品苦情・事故はなぜ発生するのか」, 食品衛生講習会(2004.11)
- 工藤由起子「液卵等によるサルモネラ食中毒について」, 食品安全行政講習会(2004.6)
- 工藤由起子「卵および液卵のサルモネラ汚染について」, 広島食品微生物研究会第5回衛生管理技術情報研修会(2005.3)
- 酒井綾子「真菌汚染による苦情食品」, 平成16年度埼玉県衛生研究所セミナー(2005.2)
- 奥田晴宏「医薬品の製造方法等の変更に伴う品質比較に関する研究」, 東西合同薬事法規委員会講演会(2004.6)
- 奥田晴宏「全体説明と化学薬品原薬について」, 大阪医薬品協会・医薬品の製造方法等の変更に伴う品質比較の研究に関する説明会」, 大阪(2004.8)
- 奥田晴宏「承認書記載整備及び原薬等登録原簿について」, 医薬品製造管理者講習会(2004.10)
- 奥田晴宏「ICHQ8の動向と承認書記載整備(軽微変更のあり方)」, 東京医薬品工業協会研修講演会「医薬品品質の国際調和」(2005.3)
- 森川 馨 シンポジウム:「医薬品製造におけるプロセスバリデーションと科学的品質保証」ヒューマンサイエンス研究成果等啓発事業「固形製剤製造におけるプロセスバリデーションと高度分析評価技術の応用」(2005.2)
- 森川 馨 シンポジウム:ヒューマンサイエンス研究成

果等啓発事業「EBMに基づく医薬品の安全性・有効性を確立するための海外の大規模臨床データの解析、評価に関する研究」(2005.3)

山本美智子, 森川 馨, シンポジウム: 医薬品の情報を読み解く「副作用情報を捉え、伝えていくために」, 第7回 日本医薬品情報学会総会・学術大会(2004.6)

山本美智子, 森川 馨, シンポジウム: 医薬品情報のさらなる活用を考える - 方法論から実践まで - 「医薬品の情報をどう活用するか」, 第14回 日本医療薬学会年会(2004.10)

山本美智子, 森川 馨, シンポジウム: 医薬品情報は誰のためにあるのか 専門情報とその伝え方「Shared Decision Making」に向けての医薬品情報」, 日本薬学会第125年会(2005.3)

豊福 肇, 「微生物規格基準設定の考え方の国際動向」, 食品安全委員会微生物専門調査会勉強会(2005.3)

豊福 肇, 「リスクアナリシスから食品監視へ」, 埼玉県食品衛生技術研修会(2005.2)

豊福 肇, 「食品中の有害微生物に関するリスク評価」, 農林水産省食品安全に関するリスクアナリシス専門家養成トレーニング(2005.2)

豊福 肇, 「食品安全とリスクアナリシス」, 北海道立札幌南高校六華ゼミ(2004.11)

豊福 肇, 「Codexにおける食品安全規格」, 日本食品微生物学会食品安心科学フォーラム(2005.4)

山本 都, 「化学テロ対処のための情報と連携」, 茨城県衛生研究所 平成16年度地域保健総合推進事業ブロック専門委員会(2005.1)

山本 都, 「化学物質による災害等に対処するための情報と連携」, 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会, 国際健康危機管理ネットワーク強化研究推進事業シンポジウム「私たちの身近に迫る健康の危機」(2005.3)

菅野 純, 「Percellome手法を用いたトキシコゲノミクス」, 第二世代トランスクリプトーム解析~ Microarray Technologyの可能性(2004.8)

菅野 純, 「毒性研究の立場から見たサリドマイド」, 第100回医薬安全性研究会定例会(2004.10)

菅野 純, 「新しい毒性評価法開発を目指したトキシコゲノミクス研究」, ヒューマンサイエンス基礎研究講習会(2004.9)

菅野 純, 「リスクアセスメントとトキシコゲノミクス」, 化学物質点検推進連絡協議会化学物質の安全対策に関する特別講演会(2004.12)

菅野 純, 関田清司, 斎藤 実, 北嶋 聡, 松島裕子, 小川幸男, 「ガルシニアの毒性について」, 第2回食品安全フォーラム(2004.12)

小澤正吾, 当所におけるミレニアムプロジェクト(薬剤反応性遺伝子解析プロジェクト), 国立医薬品食品衛生研究所130周年記念講演会,(2004.12)

今井俊夫, 「毒性病理学の最近のトピックス - 白血球のマーカー抗原に対する免疫組織化学 - 」, 第11回岐山毒性病理セミナー(2004.10)

今井俊夫, 「病理診断上の問題点: 下部消化管(腸管)の増殖性病変 - 自然発生病変 - 」, 日本毒性病理学会第5回教育セミナー(2004.11)

本間正充, 遺伝毒性試験のバイオロジカルリレバンスと, リスク評価への適応, 静岡県立大学講演会(2005.5)

木内文之, 漢方薬・生薬研修会(薬用植物園実習), 日本薬剤師研修センター(2004.5)

飯田 修, 漢方薬・生薬研修会(薬用植物園実習), 日本薬剤師研修センター(2004.10)

香月茂樹, 漢方薬・生薬研修会(薬用植物園実習), 日本薬剤師研修センター(2004.10)

### 3. 国際協力(視察・調査等)

早川堯夫, 中国医薬品安全性評価管理センター日中友好プロジェクト短期専門家, 独立行政法人国際協力事業団(2004.10 北京)

早川堯夫, フィリピン薬局方制定事業, 最終評価調査団長, 独立行政法人国際協力事業団(2004.12 マニラ)